

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 24 日 (2012.5.24)

【公表番号】特表 2011-508023 (P2011-508023A)

【公表日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-010

【出願番号】特願 2010-539821 (P2010-539821)

【国際特許分類】

C 1 0 G 67/00 (2006.01)

B 0 1 J 29/48 (2006.01)

【F I】

C 1 0 G 67/00

B 0 1 J 29/48 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 28 日 (2012.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

(a) 高芳香族炭化水素供給流を、触媒条件下で触媒システムと接触させるステップであって、前記高芳香族炭化水素供給流は少なくとも約 5 重量%超の直鎖パラフィン含量を有し、前記高芳香族炭化水素供給流の大部分は約 300 °F から約 800 °F の沸点範囲を有し、前記高芳香族炭化水素供給流は少なくとも 40 重量%超の芳香族含量を有し、前記触媒システムは単一段階反応器システムに水素化処理触媒、水素化 / 水素化分解触媒、及び脱蠟触媒を含有し、前記水素化 / 水素化分解触媒の活性金属は約 5 ~ 30 重量%のニッケル及び約 5 ~ 30 重量%のタングステンを含む、ステップ、

を含み、並びに、

(b) 前記高芳香族炭化水素供給流の少なくとも一部は、ジェット又はディーゼル沸点範囲内の沸点範囲を有する生成物流に転化される、

方法によって調製された、炭化水素系生成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

第 1 段階の液体生成物 170 を、第 2 段階の補給水素 200 及び第 2 段階のリサイクルガス 240 と共に、第 2 段階の反応器 60 に供給する。第 2 段階の反応器からの流出物 220 を、第 2 段階の高圧分離器 70 に供給し、そこで反応器の流出物を、ガス 230 と液体流 250 とに分離する。生成物ガス 230 を、リサイクルガス圧縮器 80 によって再度圧縮することにより、流れ 240 が得られ、次いでこの流れを反応器入口へと再循環させ、そこで補給水素 200 及び炭化水素ガスオイル供給材料 210 と一緒にする。液体流 250 を、液体レベル制御弁 75 で減圧し、生成物を、低圧分離器 90 でガス流 260 と液体流 270 とに分離する。生成物流 270 を蒸留システム 50 に供給し、そこで生成物 270 を分離することにより、ガス流 310、ナフサ生成物 95、及び高容量エネルギージェット燃料 100、及びディーゼル 110 が得られる。任意選択で、ジェット / ディーゼ

ル生成物スレートのバランスをとるために、ディーゼル 300 の一部を第 2 段階の反応器 60 に再循環することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

液体流 570 を蒸留システム 550 に供給し、そこで液体流 570 を分離することにより、ガス流 410、ナフサ生成物 490、及び高容量エネルギージェット燃料 600、及びディーゼル 610 が得られる。任意選択で、ジェット/ディーゼル生成物スレートのバランスをとるために、ディーゼル流 600 の一部を水素化処理器反応器 510 に再循環することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

